

## 8-4-28 品質向上専門委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 活動の目的

品質の確保・向上について、改善しなければならぬ課題は多く、管理技術面からアプローチしたエラー防止策や業務成果の品質向上策を提案することを目的とした。一方、専門技術面のエラー防止については、技術部会の各専門委員会資料を活用することで、より効果的な活動となることを目指している。

#### (2) 委員会の開催

- ・専門委員会の開催：11回

#### (3) マネジメントセミナーへの参加

- ・開催時期：平成29年7月
- ・開催地：当協会9支部の9会場
- ・主催：マネジメントシステム委員会
- ・セミナー参加者：全会場で1,370名（その内99名は発注者）

当委員会のプログラムは、第5講「品質の確保・向上に向けて」“品質向上のコツをつかむ”とし、60分の講演を行った。

#### (4) 調査検討事項

品質向上専門委員会活動として、協会会員各社が実施している「業務成果の品質向上に向けた業務マネジメント」を把握・分析し、良い取り組み事例を協会会員各社に紹介することを目的に、平成27年度マネジメントセミナーで発表した『ためして納得10のポイント』実施状況、実施効果について、アンケート調査（87社、214業務）、ヒアリング調査（13社）を実施した。

ヒアリング調査は、『ためして納得10のポイント』の中から、コミュニケーション、工程管理、照査（レビュー&チェック）の3項目を最重要課題と捉え、これらに対する取り組み内容を詳細に聞き出した。これら3項目に、技術の継承および各企業独自の品質向上に対する取り組みを加え、計5つの項目から高評価を得るために各社が実践している品質確保におけるコツ

を分析・整理した。セミナーでは、「品質向上のコツをつかむ」とのサブタイトルのもと、これらの5つの項目について、各社の取り組み事例を中心に、聴講者が身近に感じ実践してもらえるよう、多くの具体的な活用事例を紹介した。

#### (5) セミナー第5項の評価(アンケート結果より)

セミナー参加者から回収したアンケートのうち、発表内容に関しては「非常に役に立つ」と「役に立つ」の合計が、95%（昨年度98%）と高い評価を得ており、また、講師の説明に関しても「非常に分かり易い」と「分かり易い」の合計が96%（昨年度97%）と、昨年引き続き高い評価結果となったのは、発表内容をヒアリングで得られた具体の事例に重点を置き、また事前のプレゼンテーション準備に時間を割いて対応した結果と考えられる。自由意見における傾向と評価は下記の通り好評な意見が多くあった。

- ① 日頃の悩みのポイントの分析、解決策に共感を覚えた。
- ② 具体事例が多く参考になった。
- ③ 身近な業務改善のポイントが分かりやすく紹介され参考となった。

### 2. 次年度の活動について

平成30年度は、平成28年度に実施した詳細設計業務に対して、会員企業が実際に取り組んでいる品質向上施策のアンケート及びヒアリング調査の結果をもとに、品質向上と工程管理の関連性について分析、とりまとめを行い、平成30年度マネジメントセミナー（7月開催予定）での発表を予定している。資料は当協会HPで紹介し、協会の「品質ブランド」の確立を目指す。次年度も会員企業の取り組みについて継続的な調査を予定しており、また、必要に応じて品質向上に関する勉強会の実施を検討する。

（品質向上専門委員会委員長 上田 隆）